

秋のベストシーズンに迎えるカナディアンロッキー
カナダ・ロッキー山脈トレッキング

実施日 2009年9月10日(木)~18日(金)

天候 晴れ

リーダー 若村 勝昭

参加者 横山玲子、斎恵美子、若村貴世子、若村勝昭、近田芳子、鈴木政三、伊東勝昭 合計 7名

費用 航空券 74,000円、トレッキング代、ホテル代、山行中食事代、ガイド代等 166,000円、山行外食事代、バンクーバー観光代、チップ、お酒代等

計 40,000円 合計 280,000円

タイム 9月11日 バンホテル(9:00)ワゴンキャンプ場ゴンドラ入口(9:30~10:00)ヒール峠(13:30)グリズリー遭遇(14:20)エジプトトレイルシェルター(16:45) 泊

9月12日 シェルター(9:00)ウイリング峠(11:30)シャトルレイクツツ(17:20) 泊

9月13日 ロッジ(9:20)キボンス峠(11:10)キボンスピーク(12:35~13:30) ロッジ(15:15) 泊

9月14日 ロッジ(9:30)ワテンキャンプ分岐(10:10)国道入口(14:00)ワゴンバンホテル

概況 カナディアンロッキーはカナダ西岸の南北につながる1,500kmの大山脈です。南端はアメリカに更に繋がります。今回は、真ん中からやや南を、ループ状に歩きました。

コース ロッキーではピークを極める登山コースとハイキングを楽しむコースに峻別されているそうです。ハイキングでは谷から入り、



峠に上り、また谷に下ります。しかし、谷も峠も草原が広がり、のびやかな眺望が楽しめます。峠からは遠くの3,000mを超える鋭い岩峰がそびえ立ち、嶺の肩からは氷河が流れ落ちていました。

ハイキングコースは極めて良く整備されており、危険な箇所は全くありません(日本では星2つコースでも時には滑落する箇所がありますが)。

時期は花を楽しむには10日遅かったようです。峠の途中には様々な花の大群落地があり、すこし残念でした。

動物 山行初日灰色熊に遭遇しました。100m先でしたが、こちらに向かってノソノソ歩いてきます。



分かりずらいかもでもグリズリー

ガイドの先導で固まってゆっくり立ち去りました。ガイド氏も10年の経験の中で2回目だそうです。

グラウスというカナダ雷鳥も見かけました。人を恐れず、傍で餌探しです。

山小屋 無人小屋1泊。谷間の草原に立つ2DKの木



造小屋です。寝具、炊事用具、食事は全て持参です。今回は日本人ガイドの他に、応援のポーター（普段はガ

イド、今回は我々の年齢を配慮しての特



例、横山さんの交渉の賜物)がついて運んでくれました。夜は薪ストーブが焚かれて暖かく過ごしました。

ロッジ2泊。

広い草原の端にメインキャビン兼食堂、リビングロッジ、シャワーとトイレ棟、ゲストキャビンはツインベット、十棟が並んでいました。スタッフはオーナー夫人、娘さんほか、全部女性で5名、うち1名は21歳の日本人のワーホリのお嬢さん。

シャワーはお湯が出ます。

ベットはパリパリシーツです。荷揚げはすべてオーナー氏が馬4頭で運びます。ヘリではありません。

食 事 11日 昼 おにぎり3ヶ、ブドウ、ナッツ、蒟蒻ゼリー

夜 ビーフジャーキー、チーズ、パテ、クラッカー、スモークサーモン・アボガド・キュウリ・ツナ玉ねぎ、マヨのチラシ寿司、みそ汁



12日 朝 熱々の汁そうめん、一夜漬け漬物、オレンジ、梨、コーヒー、日本茶、

紅茶、ホットチョコレート

12日 昼 お弁当(ご飯、ふりかけ、海苔、ソーセージ、漬物)

以上はすべてガイドが用意してくれました。

さて、以下はロッジの食事です。

夜 (ロッジ)ライ麦ブレッド2種、バター、野菜タププリのミネストローネスープ、厚さ1cm ローストビーフは何枚でも食べ放題、サワークリーム・ホースラディッシュ添え)、シーザースサラダ(カリカリベーコン添え)、ゆで野菜(さやインゲン、にんじん、ズッキーニ)、これらもお代わり自由です。デザートはチョコレートムースクリームケーキ、コーヒー、紅茶、デカフェ。



13日 朝 ジュース(3種)、ミルク、オートミール、コーヒー、紅茶、カリカリベーコン、シナモンロール、たっぷりキッシュ。

昼 手作りサンドウィッチ(朝食後自分で作る。チーズ、玉ねぎ、トマト、キュウリ、ハム、パストラミ、ビーフソーセージ、バター、からし、マヨネーズ)、オレンジ、りんご、ナッツ、ジュースやティーも自由に。

アフタヌーンティー チーズ4種、パテとクラッカー、小さ

なにんじん、コーヒー、ティーなどメインキャビンに用意してあるので、シャワーを浴びたあと自由に。

夜 コーンマフィン 2種、バタ、キャロットジンジャースープ、サラダ、野菜キッシュパイ、インディアンライス、メインはサーモンクリームソース煮(お代わり自由)、ネクタリンとブルーベリーのホットパイの生クリーム添え)、コーヒー、紅茶



14日 朝、昼とも若干の変化の他は同じなので省略、ご馳走様でした。

飲み物はロッジでは缶ビール(3種)6カナダドル(1\$95円)でした。ワインはカリフォルニア産と豪州産でしたが、フルボトル1瓶なんと、たった7ドルです。こんなに安いんだったらもっと飲めばよかった(注文の時は値段を聞かず、チェックアウト時に知りました)。残念。

そんなこんなで、楽しく美味しく美しくドキドキも有りで、無事カナディアンロックトレッキングを終えました。ご精読ありがとうございます。

なお、今回服部さんに資料収集お世話になりました。ありがとうございました。その資料の中で紹介された現地ガイド会社のYAMNUSKA(ヤマヌスカ)社さんにお世話になりました。すべてwebでの照会、相談、見積、交渉でした。

ガイドは38歳の秋山さんでイケメンの好青年、博識で山の動植物から、地球の創生、宇宙と人類のかかわり、カナダ建国の歴史まで、山道に飽きるとタイミングよく解説です。花は実に詳しくです。カナダに来てから勉強したとの事。本も出しています。

われわれの体調や足並みに気を配り安全に、楽しく登らせてくれました。バンフ

では市内観光のサービスもしてもらいました。お世話になりました。ありがとうございました。

(記・若村 勝昭)

(写真提供・若村貴世子/ヤマヌスカより)

